

令和3年度 1月号

ボランティアセンターだより

たいない

編集・発行 胎内市社会福祉協議会
地域福祉係
ボランティアセンター
胎内市西本町 11-11 ほっとHOT・中条内
TEL 0254(44)8682 FAX 0254(44)8651
E-mail borasen@tainai-syakyo.or.jp
HP <http://tainai-syakyo.com/>



新年あけましておめでとうございます!!いよいよ新しい年が始まりましたね。昨年は新型コロナウイルスの影響で暗い閉塞感が日本中を覆い、ボランティアを取り巻く状況も一変しました。そんな中、皆様にご協力いただきながら、助けられながら、1年間つながり途絶えることなくボランティアセンターを運営することができました。皆様に「感謝、感謝、感謝」です。

コロナ禍の終息はまだまだ先になりそうですが、気持ちを新たに今年もさまざまなことに挑戦する1年にしましょう。ぜひ目標を書き出してみてください!去年できなかったこと、今年挑戦してみたいこと、書き出すだけで「今年も頑張るぞ!」という気持ちになれます。大切なのは、去年の失敗を引きずらないこと。その失敗をどう活かすかというプラスの考えを持つことができるよう、新たな気持ちで1年をスタートさせましょう☆今年も1年よろしくお祈りします!!



お知らせ



フードバンクたいない

食材の寄付とボランティア募集 にご協力ください!!

食材等の寄付 について

取扱品目

米、野菜、飲料、消費期限まで15日以上ある食料品・お菓子・調味料、衛生用品、その他生活必需品 など

お持ちいただく場所

☆ JA 胎内市農産物直売所 ふれあい蓬莱館

〒959-2655 胎内市本郷字家の下 493-2

電話：0254-43-5511

☆ (福)胎内市社会福祉協議会

〒959-2656 胎内市西本町 11-11 ほっとHOT・中条内

電話：0254-44-8682 月～金 8:30～17:30

※ 生鮮食品はできる限りふれあい蓬莱館にお持ちいただけると助かります。

ボランティア募集 について

活動日

基本は毎週日曜日ですが、現在は**毎週日曜日午後**と**金曜日午後**を特に募集しています。詳細については胎内市ボランティアセンターまでお問い合わせください。

※ 内容は品物の集荷や配達となります。

保険

活動の際は、**ボランティア活動保険に加入**をお願いします。加入申込と詳細については胎内市ボランティアセンターまでお問い合わせください。

胎内市フードバンク協議会のホームページをぜひご覧ください!

フードバンクについての情報や寄付報告を随時更新しています!!

URL : <http://foodbank-tainai.org/fbt/>

フードバンクたいない



FOOD BANK

赤い羽根共同募金運動にご協力いただきありがとうございました!!



新潟県共同募金会では「第六九回たすけあい作文コンクール」を実施しました。胎内市内では、入賞一編と佳作一編の児童が選ばれましたので、入選作文を紹介いたします。

新潟県共同募金会長賞

思いやりと助け合い

胎内市立中条小学校

六年 渡邊 結菜

私はお店に行くとき募金箱を見つめます。お母さんがレジでお金を払っている時に、募金箱にお金を入れたことがあります。

今、私はボランティア委員会の委員長をしています。私たちも「緑の募金活動」を行いました。朝、玄関で募金箱を持って立つているとたくさんの方が募金してくれました。「緑の募金」は、森林を守るために使われています。「赤い羽根共同募金」は、新潟県内で、子どもたちやお年寄りの役に立っていることが分かりました。そして、募金活動の意味について考えました。私は、「思いやりの心と助け合いの心でお互いに支え合えよう」ということではないかと思いました。

このように、募金活動について調べることをきっかけに、お店に置いてある募金箱を見つけると、「この募金は、何のために使うのか」を考えます。置いてある募金箱をよく見ると、災害の復旧のための募金や盲導犬のための募金など、いろいろな種類の募金があることに気づきました。募金の目的はいろいろあるけれど、どの募金もみんながその目的を理解して少しずつ募金することで、その目的のために役に立つことができると思いました。

自分ができていることを考えたり行動したりすることで、思いやりと助け合いが生まれます。また、地域でできることとして、落ちていた物を拾ってきれいにしたり、地域行事に参加したりすることで思いやりと助け合いの輪が広がります。学校では、相手の目を見てあいさつしたり、落とし物を拾ったり、困っている人に声を掛けたり助けたりすることで思いやりと助け合いができると思います。

これから、私たちボランティア委員会で、「赤い羽根共同募金」に取り組みます。全校の皆に呼び掛けて活動を行い、地域や社会に役立ててほしいと思います。私はこれからみんなのために何ができるのかを考えて生活していきたいと思っています。そして誰もが幸せに暮らせる生活ができるよう、協力したり助け合ったりしながら行動していきたいと思っています。

佳作

「傾聴ボランティア」を知って

胎内市立中条小学校

六年 羽田 百花

皆さんは「傾聴ボランティア」を知っていますか。半年くらい前に、祖母が「傾聴ボランティア」のことを話していました。聞いたことのない言葉だったので調べてみると、お年寄りや子育てをしている方々や障害を持つ方の話を聴くボランティアだそうです。そして、傾聴ボランティアが一番大切なことは、「決して自分の意見を言わないこと」だそうです。私は、「話を聴くこと」でカウンセラーとどう違うのか疑問に思ったので、カウンセラーについて調べてみました。カウンセラーは、傾聴した後には分析をして、問題解決のための情報提供や各種心理療法を行うということが分かりました。

このようなことを調べていくうちに、お医者さんに相談するまではいかなくても、人に話をすることで心が軽くなり、毎日の生活が暮らしやすくなるのはとてもすばらしいことだと思いました。話を丁寧に熱心に「聴く」だけで、相手の方に、安心感や癒しを与えることができるなんてすばらしいことだと思いました。

今年、パラリンピックが東京で行われ、テレビでたくさん放送されました。様々な障害をもつ人たちの周りには、サポートする人や大勢のボランティアの人たちが映っていました。選手の方々が困らないように、また、力を十分発揮できるようにサポートしていることが分かりました。また、マラソンでは、伴走する人が選手を気づかいながら、一緒になって走っている姿が印象的でした。

私にとって、「ボランティアをすること」は、資格や技術を必要とした専門的なもので、とてもハードルが高いと感じていました。しかし、この作文を書くことを通して「傾聴ボランティア」という言葉を耳にし、調べることで、話を聴いてあげるだけでも人の助けになるということを知りました。

話を聴いてあげることは、相手のことを考え思いやる、とても大切なことだと思います。私にもできるボランティア「話を聴く」。このことから始めようと思います。

入選された皆さま、おめでとうございました



参加募集

おもちゃドクター養成講座

おもちゃドクターとは？…おもちゃ修理のスペシャリストです！子どもたちにモノの大切さを伝えることや、おもちゃの魅力や楽しさをたくさんの人に広める活動をボランティアで行っています。おもちゃに興味関心のある人であれば、年齢制限無くどなたでもドクターになることができます。なお、胎内市には「おもちゃ病院たいない」という、ボランティアグループがあり随時、会員募集を行っています。本講座は、「おもちゃ病院たいない」の皆さんにご協力いただき開催いたします。お気軽にご参加ください!!

開催日 **1日目** 3月12日(土)13:00~16:00

2日目 13日(日)10:00~16:00

会場 ほっとHOT・中条 2階 大会議室

内容 おもちゃドクターの基礎に関する講義、演習

主催 社会福祉法人 胎内市社会福祉協議会 共催 おもちゃ病院たいない

定員 10名程度 参加費 無料

申込み 2月28日(月)までに社会福祉協議会にお電話か、直接窓口までお申し込みください。

持ち物 ドライバー一式などお手持ちの工具をお持ちください。この養成講座に合わせて購入する必要はありません。